



いわきの自然から学ぶ生命の尊さ いわき学校プロジェクト「好間土曜学校」が今年度も開校します！

いわき市立好間第一小学校の生徒の皆さんを対象に、「自然の素晴らしさ」「生命の尊さ」を体感してもらうことを目的に昨年度から始まった「好間土曜学校」が今年度も開校となります。

震災被害の大きかったいわき市で、減少してしまった生徒間の楽しい交流の機会を創出するため、学校と協力して開催してきた好間土曜学校。昨年度は5名のアーティストと1組の市民サークルを講師に迎え、9月から毎月1回のペースで計6回開催し、自分たちが暮らすいわき市の自然と、その自然がもたらす生命の素晴らしさを学び、創造する楽しさを体験してもらうことが出来ました。

今年度の「好間土曜学校」も昨年度に引き続き自然と生命をテーマに6～7回のワークショップを予定しており、その第1回を7月4日に開催いたします(2回目以降は2学期開催予定)。

本活動を広く知っていただきたく、取材のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

※取材頂ける場合は、あらかじめ事務局にご連絡ください。

昨年度の「好間土曜学校」の様子



はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

事務局 〒965-0807 会津若松市城東町1-25(福島県立博物館内)

Tel 0242-28-6067 もしくは 0242-28-6000(福島県立博物館代表)

Fax 0242-28-5986

担当: 小林、高橋、馬場



好間土曜学校

第1回 光の鳥と好間の空ワークショップ

【開催日程】

平成27年7月4日(土) 9:30~11:30

【会場】

いわき市立好間第一小学校(〒970-1153 いわき市好間町上好間馬場前28)

【対象】

好間第一小学校の生徒の皆さん

【内容】

赤・青・黄三色のカラーシートを使って参加した生徒それぞれがイメージする好間、いわきに関するモチーフを形作り、好間第一小学校図工室前の廊下の窓に貼ります。太陽の運行や天候によって変化するカラーシートの影から、光と影の仕組みを理解します。同時に、好間、いわきのイメージを考えることで、故郷への理解、意識を高めます。

【講師】

吉田重信…福島県生まれ、美術家。1980年代後半から活動を始める。国内外で作品を発表。1995年から自然光を使ったワークショップ「虹ヲアツメル。虹ノカンサツ」を国内各地で開催。オリジナルのモチーフ「光の鳥」をテーマにしたワークショップも行っている。

【協力】

好間第一小学校、NPO 法人 Wunder ground

【主催】

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト詳細はこちら→<http://hamanakaizu.jp/>

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

事務局 〒965-0807 会津若松市城東町1-25(福島県立博物館内)

Tel 0242-28-6067 もしくは 0242-28-6000(福島県立博物館代表)

Fax 0242-28-5986

担当:小林、高橋、馬場